

# 「安心、安全、正直な信州の温泉」の品質確保のための情報開示について

## 温泉の掲示の現状 (温泉法第14条、同施行規則第6条)

## 利用者のニーズ

## 利用者のニーズに対応するために

温泉法で掲示が義務付けられている事項

1. 源泉名
2. 温泉の泉質
3. 源泉及び温泉を公共の浴用又は飲用に供する場所における温泉の温度
4. 温泉の成分 (温泉1kg中の成分)
5. 温泉の成分の分析年月日  
(環境省通知により、概ね10年ごとの再分析が妥当)
6. 温泉分析機関の名称、登録番号
7. 浴用又は飲用の禁忌症  
(入浴を控えた方がよい疾患及び症状)
8. 浴用又は飲用の方法及び注意
9. 加水及びその理由
10. 加温及びその理由
11. 循環・ろ過及びその理由
12. 入浴剤、消毒物質の名称及びその理由

## 温泉のインフォームド・コンセントの充実

## 長野県独自の掲示制度の創設 (掲示項目の拡大)

環境省の通知により掲示できる事項

温泉の適応症

利用する源泉の状況	源泉名 (自家源泉か共有源泉か) 源泉のゆう出地 (利用施設までの距離) ゆう出量 ゆう出形態 (自然ゆう出か動力揚湯か)
利用する浴槽の温泉の状況	浴槽の種類とその状況 (温泉以外の浴槽の有無及びその状況、浴用剤の使用の有無及びその状況) 引湯の状況 (源泉から引湯、タンクローリー利用など) 加温・加水の状況 循環、かけ流しの状況及び循環の場合はその理由
利用する浴槽の衛生管理の状況	換水の状況 浴槽の清掃の状況 殺菌処理の実施の有無及びその状況 レジオネラ属菌の検査状況
温泉の成分分析の状況	温泉分析に係る温泉の採取場所及び分析時期(温泉分析書の表示)

利用する源泉の状況	源泉名 (源泉名及び自家源泉、共有源泉かの別) 源泉のゆう出地 (ゆう出地住所及び利用施設までの距離) ゆう出量 L/分 ゆう出形態 [自然ゆう出泉、掘削自噴泉(掘削 m)、動力揚湯泉(掘削 m)]		
利用する浴槽の温泉の状況	浴槽の種類とその状況 ・浴槽の数及び容量(各浴室ごと) ・温泉以外の浴槽の有無及びその状況(水道水のみを使用している浴槽など) ・浴用剤の使用の有無及びその状況		
	引湯の状況 <table border="1"> <tr> <td>引湯方法</td> <td>                             源泉から引湯か共同貯湯施設から引湯かの別                              引湯量 L/分                         </td> <td>                             引湯方法                              ・タンクローリー                              ア.搬送量 t/回                              イ.搬送頻度 回/週                         </td> </tr> </table>	引湯方法	源泉から引湯か共同貯湯施設から引湯かの別 引湯量 L/分
引湯方法	源泉から引湯か共同貯湯施設から引湯かの別 引湯量 L/分	引湯方法 ・タンクローリー ア.搬送量 t/回 イ.搬送頻度 回/週	
利用する浴槽の衛生管理の状況	加温・加水の状況 加温の有無及びその状況(常時加温か季節的加温か) 加水の有無及びその状況(%程度加水) ・加水の理由(湯量調節のためか湯温調節のためか)		
	循環、かけ流しの状況及び循環の場合はその理由 (浴槽内循環、浴槽からあふれたものも循環、かけ流しなどの別)		
	換水の状況 (浴槽の湯の入替頻度: 日に1回) (完全換水か一部( 割程度)換水か)		
温泉の成分分析の状況	浴槽の清掃の状況 (毎日清掃、日に一度清掃など)		
	殺菌処理の実施の有無及びその状況 (塩素殺菌、オゾン殺菌、紫外線殺菌などの別とその理由)		
	レジオネラ属菌の検査状況 (検査頻度、検査結果表の掲示)		
温泉の成分分析の状況	温泉分析に係る温泉の採取場所及び分析時期(温泉分析書の表示) 源泉のゆう出口での分析か、浴槽内あるいは湯口での分析か (温泉分析は極力、湯口における分析によるものとし、5年毎に再分析を行うように努めること)		